

智頭病院だより



内科医長 尾坂 妙子



認知症 について

今や認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気ですが、特に高齢化の進む日本では軽症も合わせると65歳以上の約3割、85歳以上になると約4割の人が認知症とも言われています。智頭町でも認知症は要介護認定を受ける最大の要因となっています。

認知症の種類

認知症の種類は多岐にわたります。

○代表的なもの

- ・アルツハイマー型認知症
- ・血管性認知症
- ・レビー小体型認知症
- ・前頭側頭葉型認知症

これらはまだ根本的な治療法がないため、発症を予防したり進行を遅らせる治療が主となります。

○一見認知症のように見える疾患

- ・慢性硬膜下血腫
- ・水頭症
- ・アルコール依存症
- ・甲状腺機能低下症 など

これらは原因となる病気の根本的な治療（手術や禁酒、内服薬など）によって認知症症状が改善する場合があります。